

# やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	22 / 1976 / 96-122
タイトル	青森市東部低山地のカミキリ
著者名	市田忠夫

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

# 青森市東部低山地のカミキリ

1年 市田 忠夫

## 1. はじめに

この報文は筆者と友人の青森市東部の低山地でのカミキリの記録をまとめたものである。ここで言う低山地とは、海拔200m以下で、土地のこう配が10度以上（最低で5度前後）ある地域であり、本来の低山地（海拔200～500m）とは違う。しかしながら、低山地より上部に限って分付する種も多いのであえて低山地とした。さらに、青森市東部全域ということではなくて、（横内）浄水場、戸山、稲山、滝沢であり、本報においてはそれらをさらに計17の小区に分けた。

## 2. 各産地について (Map1参照)

### A・N地域（滝沢地域）

- A（東岳中腹）：6月にセリ科の一種の花が多数咲き、ハナカミキリ、トラカミキリが集まる。1976年から碎石のため一般人の立入が禁止となった。
- N-11（滝沢）：集落があるため、所々に燃料用と思われる丸太が置かれてあり、それらにカミキリが集まる。
- N-2（小川目沢）：5月にヤナギ類の花が咲きカミキリが集まる。
- N-3（下折紙沢）：5月にカエデ類、6月にセリ科の一種の花が咲き、多数のカミキリが集まる。ここより後N-7までは、1977年に予想される「みちのく有料道路」の着工による一般の立入禁止となる可能性が強い。
- N-4（カバハギ沢）：8月にシシウドの花が咲く他、多数あるヒバの木にトガリバアカネトラカミキリ属の2種が発生している。
- N-5（上折紙沢）：5月にカエデ類、8月にシシウド他2種の花が咲きカミキリが集まる。
- N-6（平沢）：7～8月にシシウドやその他の花が咲きカミキリが集まる。
- N-7（本流末端部）：特記すべきことなし。

### I・S地域（稲山地域）

- I-1：N-1同様、燃料用の丸太がある。
- I-2：特記すべきことなし。
- I-3：タラノキが多く、センノカミキリがよく見られる。
- S（諏訪沢）：伐採された広葉樹の丸太が多数積まれてある。

### T（戸山地域）

- T-1：集落であるため薪や庭木にカミキリが集まる。

T-2: ニセアカシアの伐採枝が多量にあり、小型のカミキリが集まる。

T-3: 特記すべき事なし。

T-4: 特記すべき事なし。

Y (横内浄水場) : 強力な燈火施設があり、カミキリが飛来する。しかし、1976年から使用燈火が限定され、施設改造 (現在工事中1977年7月完成) に伴う燈火施設改造により、飛来数の激減は免れない。

### 3. 凡例

各種のデータは、日-月-年 個体数 産地(記号) 採集者 の順で記してある。

本稿中、一種に多数の型があるものの一部は型にも分けていることがある。それらは、f. (forma-地方型), var. (variety-変種), ab. (aberrant form-異常型) のいずれかで表わしてある。なお、名前はないけれども性に関係なく多型をなすものは分けたものがある。

本稿中、学名及び亜科の配列は、中根猛彦 昆虫標本ラベル カミキリの部に、和名及び種の配列は、小島・林 (1969) 原色日本 昆虫生態図鑑 カミキリ編によった。しかし、種の配列は1969年以後の族及び属の移動により多少は変わっている事をつけ加えておく。なお、和名についても、生態図鑑で使用してなくても、広く使われているものや、型についての和名を参考までに括弧で囲んで書いてある。

筆者は、カミキリを集めんと志してから2年そこそこではあるが、先人の記録を含めると種類数が100を越えており、まとめるのが遅くなればなるほど報文が長くなってしまおうだろう。さらに、横内浄水場は改造の為に飛来数激減、戸山は戸山団地着工による環境激変、東岳は碎石場の為一般の立入禁止、滝沢はみちのく有料道路 着工による環境変化及び一般の立入禁止等が考えられる為、あえて今年まとめる事にした。

なお、本稿をまとめるにあたって、データ面で協力いただいた、青森東高校生物部の大友淳、青森北高校の成田勇二の各諸氏に深く感謝する。

### 4. 種別記録と考察

Family	CERAMBYCIDAE	カミキリムシ科
Subfamily	PRIONINAE	ノコギリカミキリ亜科
Tribe	Megopidini	ウスバカミキリ族

・ウスバカミキリ (*Megopis sinica*)

?	1973		N - ?	(青森)
6-VIII	1976	1	I - 3	成田
10-VIII	1974	1	T - 2	市田

2-IX-1974	1	T-2	成田
4-VIII-1975	1	..	..

Tribe	Prionini	ノコギリカミキリ族		
・ノコギリカミキリ				
12-VIII-1976	1	1	N-3	出河守康
11-VIII-1976	2		N-4	佐井誠
8-VIII-1974	1		T-2	市田
25-VIII-1975	1		T-3	成田
26-IX-1976	1		..	..
1-VIII-1974	1		Y	市田
22-VIII-1974	1		...	成田
10-VIII-1975	1		..	..
29-VIII-1975	1		..	..

前2種は共に普通種であるが夜光性であるので、昼間の採集では偶然見つかるという事が多い。

Tribe	Anacolini	コバネカミキリ族		
・コバネカミキリ (Psephactus remiger)				
	? - 1973		N - ?	(青高)

あまり多くない種のように、筆者と友人たちは当地域では一頭の標本も得ていない。

Subfamily	SPONDYLINAE	クロカミキリ亜科		
・クロカミキリ (Spondylis buprestoides)				
22-VII-1974	1		Y	市田
26-VIII-1974	4		..	..
1-VIII-1974	5		..	..
4-VIII-1975	1		..	成田
8-VIII-1975	2		..	..

最も普通な松の害虫であり、個体数もかなり多いが、完全な夜光性であり、今のところ燈火に頼るしか採集方法がない。

Subfamily	ASEMINAE	マルクビカミキリ亜科		
・マルクビヒラタカミキリ (Asemum amurense)				
20-VI-1974	1		T-2	市田

上記の一頭は、杉の丸太の上を歩いていた。

• ムナクボカミキリ (*Arhopalus rusticus*)

22-VI-1975	1	Y	市田
31-VIII-1975	1	..	..

本種も夜光性で、燈火によく集まる。

Subfamily DISTENINAE ホソカミキリ亜科

Tribe Distenini ホソカミキリ族

11-VIII-1976	1	N-4	佐井誠
26-VII-1974	1	Y	市田
31-VI-1974	1	..	大友

燈火によく集まる種で、朝夕も飛ぶ。

Subfamily LEPTURINAE ハナカミキリ亜科

Tribe Stenocorini カタビロハナカミキリ族

• フタコブルリハナカミキリ (*Stenocorus coeruleipennis*)

13-VI-1976	1	N-3	市田
19-VI-1976	1	..	..

♂の体色は普通であるが、♀ではかなり色が淡く、横浜のsubsp. *galloisii*に似ていて、上翅は緑、足や触角もかなり淡い。足や触角についての差は、Fig. 1を参照されたい。

西津軽では7月に比較的多く採集されている。

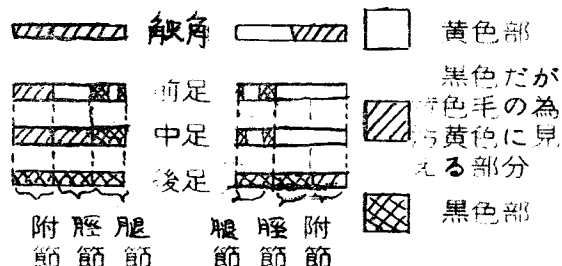


Fig. 1 原型(♂)と淡色的個体(♀)の付属物の色

• モモグロハナカミキリ

(*Toxotinus reini*)

13-VI-1976	1	N-4	大友
------------	---	-----	----

上記の個体は、山地で採集される黒化型であり、当地域がわずか海拔200m未満の地でありながら、山地の要素を含むことを証明している。

• クビアカドウガネハナカミキリ (*Gaurotes atripennis*)

25-V-1975	1	I-2	市田
-----------	---	-----	----

アカマツの倒木の上を歩いていた。

• カラカネハナカミキリ (*Gaurotes doris*)

6-Ⅵ-1975	Y2 B1	A	市田
22-Ⅴ-1976	1	N-2	..
13-Ⅵ-1976	Y4 M3	N-3	..
13-Ⅵ-1976	Y2 M3	..	成田
19-Ⅵ-1976	Y1 M7	..	市田
20-Ⅵ-1976	Y3 M3 B2	..	..
13-Ⅵ-1976	?	N-4	大友
6-Ⅶ-1975	7 B6	N-5	市田
15-Ⅵ-1975	1	N-?	佐井誠
22-Ⅵ-1975	1	..	..
17-Ⅵ-1976	?	..	(東高)
12-Ⅵ-1976	Y1 M1 B1	T-3	成田

本種は滝沢一帯では最も普通なハナカミキリで、6月には特に多数見つかる。本種の腹部には色彩の変異があり、原型では黄色で気門付近だけが黒いが、*f. suvorovi*は全く黒く、両種間にはさまざまな段階で変化している。(Fig. 2) データ中、Yは原型、Mは中間型、Bはソボロフ型を示し、記していないものについては不明である。

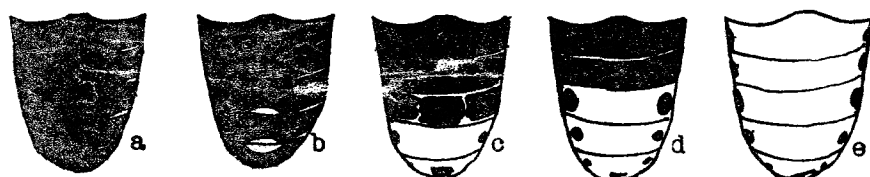


Fig. 2 カラカネハナカミキリの腹部の色 *f. suvorovi*(a) と原型 (e)、及びさまざまな段階の中間型 (b)~(d)

• アカイロニセハムシハナカミキリ (*Lemula nishimurai*)

23-Ⅴ-1976	1	N-3	市田
17-Ⅵ-1976	1	N-?	大友

本種は、古い形態を残した種類であり、東北日本では決して普通種などとは言えない種である。

• ピックニセハムシハナカミキリ (*Lemula rufithorax*)

23-Ⅴ-1976	2	N-3	市田
-----------	---	-----	----

本種は外見上、前種によく似ているが、前種は太くて短く、前翅の幅がその長さの半分以上あることで区別できる。(Fig. 3参照)さらに、前種は本種に比べ、

はるかに赤みが強い。

・キバネニセハムシハナカミキリ (*L. deciens*)

23-V-1976	2	N-3	市田
13-VI-1976	1	N-3	成田
19-VI-1976	1	N-3	市田
22-V-1976	1	T-2	成田
31-V-1976	1	T-2	市田

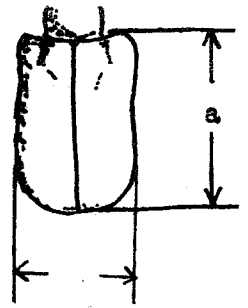


Fig. 3  
a 2b: アカイロニセ  
a 2a: ピックニセ

以上 *Lemula* 属3種はハナカミキリとしても発生がやや早く、カエデ類の花に好んで集まる。

・ヒナルリハナカミキリ (*Acmaeps minuta*)

1-VI-1975	B1	A	市田
22-V-1976	Y2 B2	N-2	..
15-VI-1975	1	N-3	佐井誠
20-VI-1976	B1	N-3	市田
23-V-1976	Y4 M2 B3	N-5	..
25-V-1975	B1	I-1	..
22-V-1976	M1 B2	T-3	成田
31-V-1976	Y1	T-3	市田
12-VI-1976	Y1 B1	T-3	成田

本種も普通種でカラカネハナカミキリの様に腹の色に変化がある。真黒い原型、黄色 (*m. japonica*) と中間型がある (Fig. 4参照)。なお、カラカネハナカミキリの *f. suvorovi* も本種の *m. japonica* も東北日本特産であることを加えて述べておく。



Fig. 4 ヒナルリハナカミキリの腹の色 *m. japonica* (a) と原型 (e) 及び中間型 (b~d)

・セスジヒメハナカミキリ (*Pidonia amentata kurosawai*)

1-VI-1975	2	A	市田
-----------	---	---	----

6-VI-1975	2	A	市田
23-VI-1976	1雄3雌	N-3	..
13-VI-1976	1雄 13雌	N-3	成田
19-VI-1976	4雄 5雌	N-3	市田
20-VI-1976	5雌	N-3	..
6-VII-1975	1	N-6	..
14-VI-1975		N-?	(東高)
5-VI-1976		N-?	(..)

・フタオビチビハナカミキリ (フタオビノミハナカミキリ) ( *P. testacea* )

1-VI-1975	1	A	市田
19-VI-1976	3	N-3	..
20-VI-1976	1	N-3	..
5-VI-1976		N-?	(東高)
14-VI-1976		N-?	(..)

本種はかなり花の好みがあるらしく、ガマズミの様な花以外には集まらない。

・ナガバヒメハナカミキリ ( *P. signifera* )

6-VII-1975	1	N-5	大友
------------	---	-----	----

・ニッポンヒメハナカミキリ ( *P. japonica* )

15-VI-1975	3	N-3	佐井誠
13-VI-1976	5雄 2雌	N-3	市田
13-VI-1976	10雄 3雌	N-3	成田
19-VI-1976	4雄 2雌	N-3	市田
20-VI-1976	4雄 1雌	N-3	..
14-VI-1976		N-?	(東高)
17-VI-1976		N-?	(..)

本種の雌は前種に色彩・はん紋が非常に似ている。両者の間には細かな差があるが、前種ははるかに大きいので、一見して同定ができる。なお、本種のたい筋の端は黒いもの、地色と同じもの、中間のものがある ( Fig. 5 参照 )。以上 *Pidonia* 属4種はやや山地性のもののように、他の産地ではいずれの種も採集されていた。



Fig. 5



Tribe Lepturini ハナカミキリ族

• チビハナカミキリ ( *Grammoppera chalybeella* )

22-V-1976	1雄	T-3	成田
31-V-1976	3雄 4雌	T-3	市田

• チャボハナカミキリ ( *Anoplobera misella* )

11-VIII-1976	1	N-4	市田
--------------	---	-----	----

• アカハナカミキリ ( *Corymbia succedanea* )

15-IX-1976	1	N-6	市田
8-VIII-1976	1	I-2	..
7-IX-1976	1	I-2	..
28-VII-1976		I-?	(東高)
17-VIII-1976	1	S	市田
2-VIII-1972	1	T-	..
10-VIII-1974	1	T-2	..
8-VIII-1975	1	T-2	..

平地に多い種であり、A やN などの山地的傾向のある所では、かえって少ない。

• ツヤケシハナカミキリ ( *Anastrangalia scotodes* )

20-VI-1976	1雄	N-3	市田
17-VI-1976		N-?	(東高)
12-VI-1976	1雌	I-?	大友
27-VI-1976	1雌	S	市田
25-VI-1976	1雌	T-3	成田
1-VII-1976	1雄	T-3	..

• アオバホソハナカミキリ ( *Stranglomorpha tenuis* )

16-VI-1975	2	A	市田
16-VI-1975	1雄 2雌	A	成田
15-VI-1975	1	N-3	佐井誠

本種は山地性種のようにあり、前出の *Pidonia* 属同様、他地域では全く採集されていない。

・ニンフハナカミリ ( *Parastrangalis nymphula* )

19-VI-1976	3	N-3	市田
20-VI-1976	2	N-3	..
6-VII-1975	6	N-6	..
19-VI-1976	6	N-6	..

比較的山地性の種であり、N 地域では最も普通のハナカミキリの1種である。

・タテジマハナカミキリ ( *P. shikokensis* )

6-VII-1975	1	N-6	市田
------------	---	-----	----

本種は外見上前種に非常によく似ており、同定のきめては、触角である。すなわち本種の触角は第8節が白いが、前種では8~9節が白いか、後半の節々が全て黄かっ色であるかである。本種は前種と混じって採集されるが、その個体数は、はるかに少ない。

・ヨツスジハナカミキリ ( *Leptura ochraceotasciata* )

12-VIII-1976	1雄 1雌	N-3	市田
11-VIII-1976	1雌	N-4	佐井誠
11-VIII-1976	3雄 4雌	N-5	市田
21-V-1968	1雌	I-?	(東高)

東高の記録はどうも信じがたい。稲山では採集されても不思議はないが5月に発生しているということはどうも疑問である。

本種からヤツボシハナカミキリまでの *Leptura* 属5種はいずれも比較的山地性 (クロハナカミキリは例外) で他産地での採集例はほとんどない。

・キモンハナカミキリ ( *L. duodecimguttata* )

16-VI-1975	1雄	A	市田
13-VI-1976	1雄 1雌	N-3	成田
19-VI-1976	1雌	N-3	市田
16-VI-1976		N-?	(東高)

本種は前しのはん紋に個体変異があるが、今まで採集されたものは全て、*f. typica* ( Fig. 6 参照) である。



Fig. 8 *f. typica*

・ハネヒロハナカミキリ ( *L. latipennis* )

12-VI-1976	1雌	N-1	市田
13-VI-1976	1雌	N-3	成田

N-1で採集された個体はミスナラと思われる薪用の丸太に産卵していたものである。

・クロハナカミキリ ( *L. aethiops dimorpha* )

16-VI-1975	1雄	A	市田
16-VI-1975	1雄 2雌	A	成田
13-VI-1976	1雌	A	..
13-VI-1976	1雄	N-3	..
13-VI-1976	1雄	N-3	市田
15-VI-1975	1雄	N-?	佐井誠
5-VI-1976		N-?	(東高)
17-VI-1976		N-?	(..)
31-V-1976	1雄	T-3	市田
12-VI-1976	1雄	T-3	成田

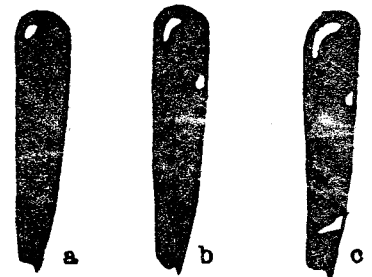
本種は *Leptura* としては例外的に低地にも産する。筆者は稲山でも目撃している。

・ヤツボシハナカミキリ ( *L. arcuata mimica* )

16-VI-1975	1雄	A	市田
16-VI-1975	1雄	A	成田
15-VI-1975	1雄	N-3	佐井誠
16-VI-1976		N-?	(東高)
19-VI-1976		N-?	(..)

Fig. 7  
a: *infernalis*  
b: *miyama*  
c: *modicenotata*

本種の上しはん紋は前出のキモンハナカミキリより変異が多く、当地域では次の3型が知られている。すなわち、m. *infernalis*, m. *miyama*, m. *modicenotata* ( Fig. 7 参照 )。Fig. 7でわかる様に、当地域において、8個の紋のある個体はまだ採集されていない。



・カタキハナカミキリ ( *Pedostrangalia femoralis* )

19-VI-1976	1雄	N-3	市田
------------	----	-----	----

上記個体は ab. *xanthoma* という型である。

Tribe Necydalini      ホソコバネカミキリ族

• オニホソコバネカミキリ      ( *Necydalis gigantea* )

本種については、標本もデータも全く見てはいないが、先輩の話によると稲山においてナツグミより採集されているので、ここに参考までに記しておく。

Subfamily CERAMBYCINAE      カミキリ亜科

Tribe Cerambycini      ミヤマカミキリ族

• ミヤマカミキリ      ( *Massicus raddei* )

10-VIII-1972      1雄      Y      小野秀一

本種は夜光性で燈火に飛来する。

Tribe Calliopini      ヨツボシカミキリ族

• ヨツボシカミキリ      ( *Stenygrammus quadrinotatum* )

?-1973      N-?      (青高)

Tribe Molorchini      ヒゲナガコバネカミキリ族

• クロツヤヒゲナガコバネカミキリ      ( *Molorchus hattorii* )

13-V-1973      2      I-?      沢田博史

Tribe Rosaliini      ルリボシカミキリ族

• ルリボシカミキリ      ( *Rosalia batesi* )

30-VII-1972      1雄      N-?      沢田博史

12-VIII-1974      1雄      T-1      市田

本種は枯木に集まる美しい種で滝沢では多数採集されているようである。本種の上しはん紋の個体変異は多く上記2例はそれぞれ、f. *typica*, ab. *prot-*

horacehasiimaculata ( Fig. 8参照) である。

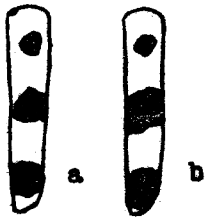


Fig. 8

a: f. *typica*

b: ab. *prothoracohasiimaculata*

Tribe Calliochromini アオカミキリ族

・オオアオカミキリ ( *Chloridolum thaliodes* )

〒1973

N-?

(青高)

本種はあまり多い種ではないが、滝沢地域には比較的サワグルミが多いため、多少は発生しているはずだ。

Tribe Callidiini スギカミキリ族

・ヒメスギカミキリ ( *Palaeocallidium rutipenne* )

f. *typica*

22-V-1976	1雄	N-3	市田
13-VI-1976	3雄 5雌	N-3	..
13-VI-1976	21雄 6雌	N-3	成田
15-VI-1975	1雄	N-?	佐井誠
1-VI-1974	2雄 7雌	I-1	市田
8-VI-1974	1雄	I-1	..
27-VI-1975	5	I-1	(東高)
10-VI-1973	1雄	I-?	沢田博史

ab. *bicoloratum*

22-V-1976	1雄	N-3	市田
13-VI-1976	6雄	N-3	..
13-VI-1976	10雄	N-3	成田
1-VI-1974	1雄	I-1	市田
27-VI-1975	20雄	I-1	(東高)
12-VI-1976	1雄	I-1	成田

ab. *metallipenne*

13-VI-1976	3雄	N-3	成田
1-V-1974	1雄	I-1	..

本種には上記の如く3型があるが、雌は*f. typica*のみで、雄では*ab. bicoloratum*が最も多く、ついで*f. typica*、*ab. metallipenna*はむしろ少ない(他の型に比べて)と言っていい。本種は有名な杉の害虫で、伐採された杉の丸太や枝のあるところでは、必ずと言っていいほど採集できる。

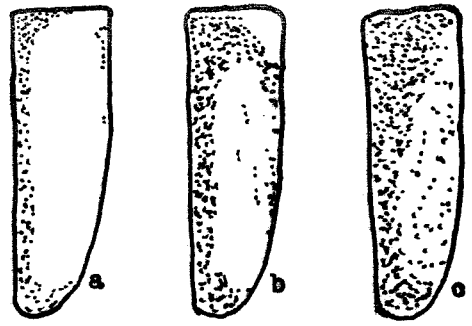


Fig. 9 a: *f. typica*  
b: *ab. bicoloratum*  
c: *ab. metallipenna*

・チャイロホソヒラタカミキリ ( *Phymatodes testacens* )

*f. typica*

12-VI-1976	4	N-1	市田
12-VI-1976		N-1	大友
14-VI-1976		N-1	..
19-VI-1976		N-1	..
19-VI-1976	2	N-1	市田

var. *variabilis* (クビアカルリヒラタカミキリ)

12-VI-1976	4	N-1	市田
14-VI-1976		N-1	大友
16-VI-1976		N-1	..
19-VI-1976		N-1	..
19-VI-1976	2	N-1	大友
23-VI-1974	1	T-1	成田
5-VI-1976	1	T-2	市田

var.

12-VI-1976	3	N-	市田
14-VI-1976	2	N-1	大友
19-VI-1976	4	N-1	..
19-VI-1976	2	N-1	市田

本種は戦後から日本で採れ始め、近ごろはあまり多くないと言うことであるが、今年N-1では軽く50頭は採れたであろう。本種には、多数の型があるが、日本で採れるのは大部分青色型( var. *variabilis* )であると言う。すなわち、原型( *f. typica* )は少ないのであるが(この事は筆者の参考とした、どの図鑑にも図示されていないことからわかる)、しかしこれまたN-1から10種以上採集されている。なお、青色型のうちvar. ? 上しの色彩は青色型と同種

である（濃こん～青緑）であるが、前胸の色彩が赤黄～赤かっ色ではなく、全体または、縁を残した大部分が黒くなるものである。成虫は昼でも少数は見られるが、主に薄暮活動性であり、夕暁けの始まるころより活動が始まり、林の中より多数の個体がナラ類の薪に集まり薪上で交尾・産卵などを行う。この活動はかなり暗くなるまで続くが、その後は暗くてよくわからない。青色型と原型の交尾は発見されなかった。本種の如く美しい種でも薄暮活動性の種があるものだ。

・アカネカミキリ ( *P.asaki* )

♂1973 N-? (青高)

・シロオビカミキリ ( *P. albicinctus* )

♂1973 N-? (青高)

前2種は共にブドウの枯づるに幼虫の寄生する種で、アカネカミキリは普通種らしいが筆者はまだ見ていない。

Tribe Clytini      トラカミキリ族

・ムネマダラトラカミキリ ( *Xylotrechus grayii* )

27-VI-1976      1      8      市田

・キンケトラカミキリ ( *Clytus auripilis* )

16-VI-1975      1      A      市田

25-V-1975           I-1      ..

29-V-1975      7      I-1      成田

・シラケトラカミキリ ( *C. melaenus* )

13-VI-1973      1      N-3      成田

25-V-1975      2      I-1      市田

.....      1      I-1      ..

29-V-1975      2      I-1      成田

前2種は1975年5月にI-1で比較的多く採れた以上は、採集種があまり多くない。I-1のものは燃料用伐採木（おそらくケヤキと思われる）に集まっていた。

• キスジトラカミキリ ( *Cytoclytus caproides* )

16-VI-1975 1雄 A 成田  
16-VI-1975 1雌 A 市田

• アカネトラカミキリ ( *Braobyolitus singularis* )

25-V-1975 N-3 (東高)

• エグリトラカミキリ ( *Chlorophorus japonicus* )

12-VIII-1976 1 N-1 市田  
13-VI-1976 2 N-3 成田  
19-VI-1976 7 N-3 市田  
11-VIII-1976 2 N-5 ..  
29-VIII-1975 1 I-1 ..  
20-VIII-1975 2 T-2 ..

• クロトラカミキリ ( *C. diadema inhirsutus* )

3-X-1976 1 I-1 成田  
6-VIII-1976 2 I-2 市田  
16-IX-1973 2 T-1 ..  
8-IX-1974 1 T-2 ..  
20-VIII-1976 2 T-2 成田  
10-VIII-1972 1 Y 小野秀一

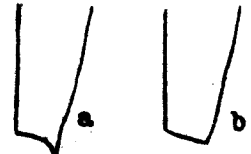


Fig. 10  
a: エグリトラ  
b: クロトラ

前2種は共に普通種で、よく似ている (区別法はFig. 10参照)。両種とも、各種の花や広葉樹の伐採木に集まる。

• ホソトラカミキリ ( *Rhaphuma xenica* )

15-IX-1976 1 N-6 市田  
6-VIII-1976 1 I-2 ..

本種は一見後出のトゲヒゲトラカミキリと似ているが (両者の区別はFig. 11参照)、それよりは、はるかに少ない。

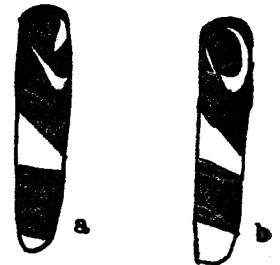


Fig. 11  
a: ホソトラ  
b: トゲヒゲトラ

• ヒメクロトラカミキリ ( *R. eliminata* )

16-VI-1975 1 A 成田



23-V-1976	1	N-3	市田
23-V-1976	1	N-5	..
22-V-1976	1	T-3	成田

・トゲヒゲトラカミキリ ( *Demonax transilis* )

13-VI-1976	5	N-3	市田
19-VI-1976	5	N-3	..
20-VI-1976	2	N-3	..
6-VII-1975	6	N-6	..
17-VI-1976		N-6	大友
1-VI-1975	1	I-1	市田
31-V-1976	1雌	I-1	..
27-VI-1976	4	S	..
31-V-1976	1	T-1	..

本種は、滝沢地域では最も普通のトラカミキリで6月～7月には、いたる所の花上に見られ、針広葉樹の伐採木に集まる。

Tribe Anaglyptini アカネトラカミキリ族

・キオビトラカミキリ ( *Anaglyptus subfasciatus* )

19-VI-1976	1雌	N-3	市田
23-V-1976	1雄	N-4	..
23-VI-1974	1	I-1	..
22-V-1976	1	T-2	成田

・トガリバアカネトラカミキリ ( *A. niponensis* )

22-VI-1976	1	N-4	福士広司
6-VII-1975	1	N-5	市田
25-VI-1975	1	I-1	成田
5-V-1976	1	T-1	市田
VI-1974		T-?	(東高)

前2種は互いによく似た種であり (区別法はFig. 12参照)、両種の分布は完全に重なり、個体数もほぼ等しい。

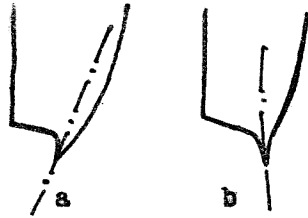


Fig. 12

a: キオビトラカミキリ

b: トガリバアカネトラカミキリ

・シロトラカミキリ ( *Paraclytus excultus* )

16-VI-1975	6	A	成田
16-VI-1975	4	A	市田
25-V-1975	2	N-3	(東高)
23-V-1976	2	N-3	市田
13-VI-1976	3	N-3	..
19-VI-1976	3	N-3	..
20-VI-1976	1	N-3	..
6-VI-1976		N-4	大友
23-V-1976	4	N-5	市田
12-VI-1976		N-?	(東高)
17-VI-1976		N-?	(..)
22-V-1976	1	T-2	成田

本種も滝沢地域では普通種で5~6月に非常に多い。多少は山地性。

Tribe Purpuricenini ベニカミキリ族

・ヘリグロベニカミキリ ( *Purpuricenus spectabilis* )

13-VI-1976	1	N-4	(東高)
後半-VI-1976	1	N-4	(..)

Subfamily LAMIINAE フトカミキリ亜科

Tribe Mesosini ゴマフカミキリ族

・ゴマフカミキリ ( *Mesosini myops japonica* )

16-VI-1976	1雌	A	成田
------------	----	---	----

12-VI-1975	1雄 1雌	N-1	市田
13-VI-1976	11	N-1	成田
14-VI-1976		N-1	(東高)
16-VI-1976		N-1	(..)
18-VI-1976		N-1	(..)
19-VI-1976		N-1	(..)
25-V-1975	7	I-1	市田
10-VI-1973	1	I-?	Ogiwara
27-VI-1976	10	S	市田

本種はフトカミキリ亜科中最普通の種に属する。個体による体位の差が著しく、小さいものは大きいものの $\frac{1}{2}$ 程である。

・ナガゴマフカミキリ (*M. longipennis*)

?-1973		N-?	(青高)
29-VI-1968		I-?	(東高)
7-VIII-1975		T-3	成田

・カタジロゴマフカミキリ (*M. hirsuta*)

10-VIII-1976	3	N-1	市田
12-VIII-1976	2	N-1	..
4-IX-1976		I-1	大友

本属のものは、おそらく樹外(成虫)越冬するのであろう。1976年11月3日、杉木隆氏は矢田において、オオムラサキの幼虫採集中、ゴマフカミキリ *lex.* を得た。

Tribe Apomecynini シラホシサビカミキリ族

・ヒシカミキリ (*Microleta ptinoides*)

?-1973		N-?	(青高)
29-VI-1975	1	I-1	市田
29-VI-1975	1	I-1	成田

• ゴマフチャイロカミキリ ( *Asaperda obscura* )

22-VI-1974 1 T-1 市田

本種はピーティングにより得られる。上記の個体はクワをたたいて得られた。

• シナノクロフカミキリ ( *A. agapenthina* )

18-VI-1976 I-1 大友

7-VI-1968 1 I-? 沢田博史

27-V-1973 1 I-? (東高)

筆者はまだ採集したことがないが、前種よりは多そうだ。

Tribe Pteroplinini サビカミキリ族

• トガリシロオビサビカミキリ ( *Pterolophia caudata* )

12-VIII-1974 1 T-1 市田

8-IX-1974 1 T-2 成田

12-VIII-1975 3 T-3 ..

• マルモンサビカミキリ ( *P. angusta* )

22-VI-1974 2 T-2 市田

27-VII-1975 1 T-2 ..

9-VIII-1975 1 T-4 成田

• エゾサビカミキリ ( *P. japonica* )

20-VI-1976 1 N-3 市田

9-VIII-1975 3 T-4 成田

• アトジロサビカミキリ ( *P. donata* )

? - 1973 N-? (青高)

22-VI-1974 5 T-2 市田

10-VII-1976 3 T-2 ..

本種は記録こそ少ないが、本属中最普通種である。

• アトモンサビカミキリ ( *P. nigida* )

25-VI-1975 2 I-1 成田

27-VI-1975	1	I-1	成田
10-VI-1976		I-1	大友
18-VI-1976		I-1	..
27-VI-1976	1	S	成田

・ナガジロサビカミキリ ( *P. jugosa* )

25-VI-1975	3	N-1	成田
27-VI-1976	1	S	..

本属も、おそらく樹外(成虫)越冬であろう。筆者は1976年11月3日、矢田でナガジロサビカミキリを採集した。

Tribe Morimopsini アカガネカミキリ族

・コフヤハズカミキリ ( *Mesechthistatus binodosus* )

16-VI-1975	1	A	市田
15-VI-1975	1	N-?	佐井誠
27-VIII-1975	1	I-1	成田
26-V-1975	1	I-2	..
2-VI-1971	4	I-?	(東高)
7-VI-1971	1	I-?	(..)
22-V-1976	1	I-?	(..)
29-V-1976	1	I-?	(..)
12-IX-1976	1	I-?	佐井誠
9-VIII-1974	1	T-2	成田
2-VIII-1975	1	T-2	..
9-VIII-1974	1	T-4	..

本種は、樹外(成虫)越冬で、雪のない時期ならいつでも見つかる。一度に多数採れることはまずない。

Tribe Agnini ヒゲナガカミキリ族

・イタヤカミキリ ( *Mecynippus pubicornis* )

Tribe Necydalini      ホソコバネカミキリ族

• オニホソコバネカミキリ      ( *Necydalis gigantea* )

本種については、標本もデータも全く見てはいないが、先輩の話によると稲山においてナツグミより採集されているので、ここに参考までに記しておく。

Subfamily CERAMBYCINAE      カミキリ亜科

Tribe Cerambycini      ミヤマカミキリ族

• ミヤマカミキリ      ( *Massicus raddei* )

10-VIII-1972      1雄      Y      小野秀一

本種は夜光性で燈火に飛来する。

Tribe Calliopini      ヨツボシカミキリ族

• ヨツボシカミキリ      ( *Stenygrimum quadrinotatum* )

?-1973      N-?      (青高)

Tribe Molorchini      ヒゲナガコバネカミキリ族

• クロツヤヒゲナガコバネカミキリ      ( *Molorchus hattorii* )

13-V-1973      2      I-?      沢田博史

Tribe Rosaliini      ルリボシカミキリ族

• ルリボシカミキリ      ( *Rosalia batesi* )

30-VII-1972      1雄      N-?      沢田博史

12-VIII-1974      1雄      T-1      市田

本種は枯木に集まる美しい種で滝沢では多数採集されているようである。本種の上しはん紋の個体変異は多く上記2例はそれぞれ、f. *typica*, ab. *prot-*

Tribe Rhodopinini コブヒゲカミキリ族

• セミスジカミキリ ( *Rhodopina lewisi* )

18-VI-1976	1	I-1	大友
27-VI-1976	1	S	成田

• クリイロチビケブカカミキリ ( *Terinaea atrotusca* )

12-VI-1976	18	N-1	市田
19-VI-1976	1	N-1	..
20-VI-1976	1	N-1	..
27-VI-1976	1	S	成田

• シロオビチビカミキリ ( *Sybrodiboma subfasciata* )

27-VI-1975	3	S	成田
------------	---	---	----

Tribe Xenoleini ナガヒゲカミキリ族

• エソナガヒゲカミキリ ( *Jezohammus nubilus* )

27-VI-1976	1雄 1雌	S	成田
------------	-------	---	----

Tribe Pogonocherini ネジロカミキリ族

• ネジロカミキリ ( *Pogonocherus seminivens* )

27-VI-1976	4	S	成田
------------	---	---	----

上記の個体は、タラノキの伐採枝に集まっていたものである。

Tribe Acanthocinini モモフトカミキリ族

• ケシカミキリ ( *Misaenia tonsa* )

13-VII-1973	1	Y	市田
-------------	---	---	----

上記個体は浄水場ろ過池に落ちていたもので、採集時には生きていた。

- ヒゲナガモモフトカミキリ ( *Acanthocines griseus orientalis* )  
22-VII-1975 1雄 Y 市田
- アトモンマルケシカミキリ ( *Exocentrus lineatus* )  
12-VIII-1974 1 T-2 市田
- キッコウモンケシカミキリ ( *E. testudineus* )  
?-1973 N-? (青高)
- クモガタケシカミキリ ( *E. fasciolatus* )  
12-VIII-1974 4 T-2 市田
- シラオビゴマフケシカミキリ ( *E. guttulatus* )  
12-VIII-1974 2 T-2 市田  
21-VII-1975 1 T-2 ..

本属のものはニセアカシア等の伐採枝によく集まる他、シラオビゴマフケシカミキリでは燈火にもよく飛んでくる。

Tribe Sperdini トホシカミキリ族

- キモンカミキリ ( *Menesia sulphurata* )  
14-VI-1976 N-1 (東高)  
19-VI-1976 1 N-3 市田  
20-VI-1976 1 N-3 ..  
25-VI-1976 1 I-1 成田  
27-VI-1976 2 S ..
- オニグルミノキモンカミキリ (トウキョウヒメカミキリ) ( *M. flavtecta* )  
15-VI-1976 1 N-1 (東高)  
たいへん美しい種で、まれなようだ。
- ハンノアオカミキリ ( *Eutetrappa chrysargyrea* )  
20-VII-1976 1 N-3 佐井誠

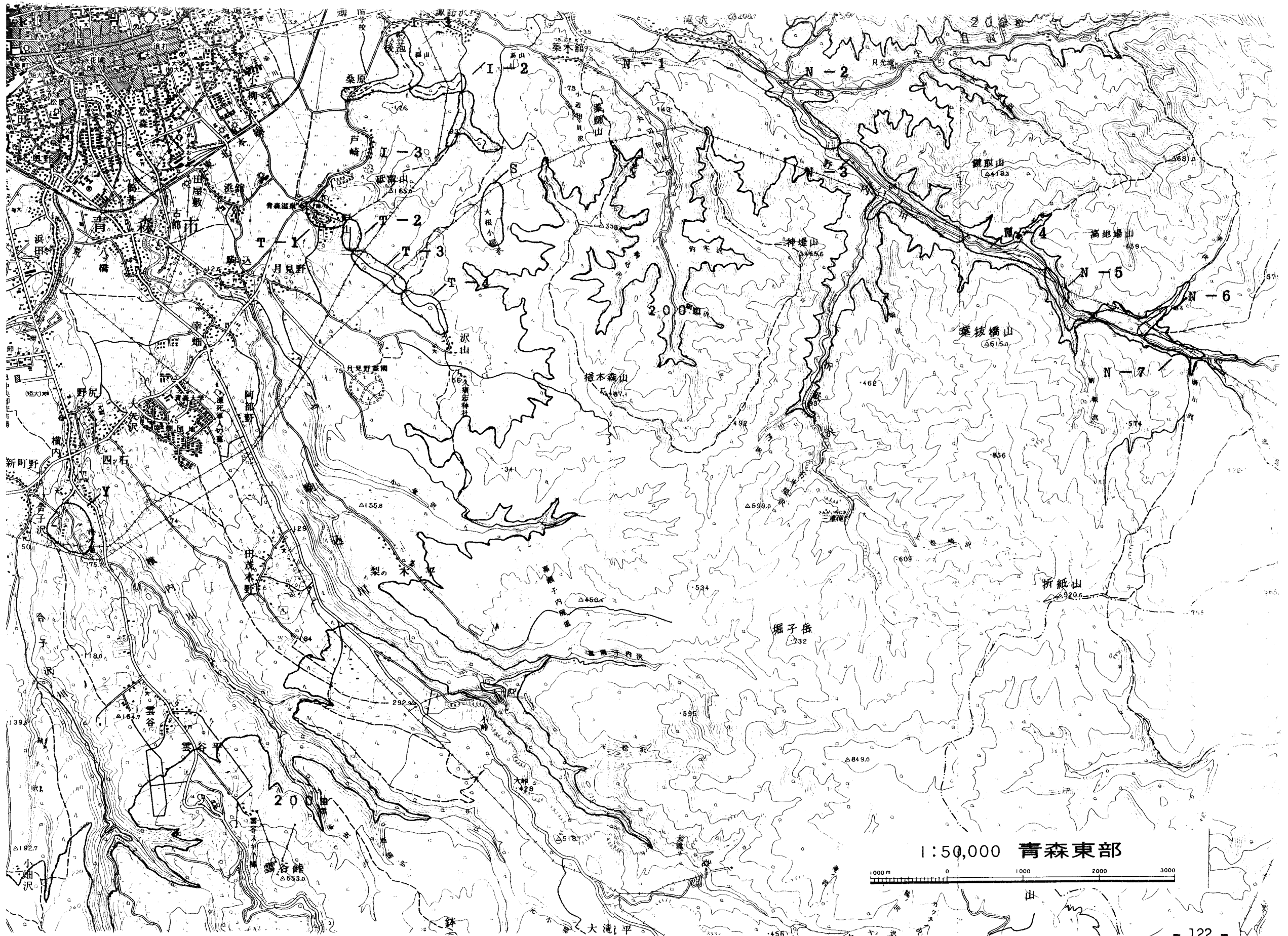


11-VIII-1976	1	N-4	出河守康
* シラホシカミキリ ( <i>Glenea relictata</i> )			
5-VI-1976		N-1	(東高)
16-VI-1976		N-1	( .. )
19-VI-1976		N-1	( .. )
23-VII-1976		I-1	( .. )
29-VII-1975		T-3	成田
31-VII-1975		T-3	..
* ヘリグロリンゴカミキリ ( <i>Nupserha margine</i> )			
6-VII-1975	1	N-4	市田
* ヒメリンゴカミキリ ( <i>Oberea bescens</i> )			
12-VI-1972	1	T-2	市田
23-VI-1974	1	T-2	..
6月ごろに山道を歩くと、飛んでいる本種を見ることが多い。			
* ニセリンゴカミキリ ( <i>O. mixta</i> )			
?-1973		N-?	(青高)
* ヨツキボシカミキリ ( <i>Epiglenea comes</i> )			
18-VI-1976	1	I-1	(東高)
?-VII-1975	2	T-2	成田
* クロニセリンゴカミキリ ( <i>Eumecocera unicolor</i> )			
23-V-1976	1	N-7	佐井誠
* チチブニセリンゴカミキリ ( <i>Nipponostenostola niponensis</i> )			
5-VI-1976	3	N-1	大友
* キクスイカミキリ ( <i>Phytoecia rutiventris</i> )			
13-VI-1976	1	N-2	成田
29-VI-1976	3	I-1	..
1-VI-1974	1	T-2	市田

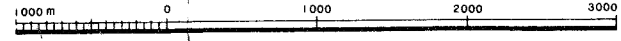
以上、7亜科102種。

参 考 文 献 (ハイフンで囲んだ年号は初版発行年を示す。)

- 八戸工業専門学校学生会生物部 (1976) 1973年度共同調査報告 III 天牛類の分付について。寄生木11・12 : 4~6。
- 北隆館 (1957-1950-) 日本昆虫図鑑。北隆館, 東京。
- 京浜昆虫同好会 (1973) 新しい昆虫採集案内 (III) -沖縄・離島編-
- 木村帝一 (1974) 野内川周辺の昆虫。やぶなべ19 : 11~22。
- 小島圭三 (1974) カミキリムシの観察と飼育。ニュー・サイエンス社, 東京。
- ・林匡夫 (1973-1969-) 原色日本昆虫生態図鑑 I カミキリ編。保育社, 大阪。
- 中根猛彦 昆虫標本ラベル カミキリの部。ニュー・サイエンス社, 東京。
- (1975) 日本の甲虫 (16~24) かみきりむし科11~19。昆虫と自然Vol.10 No.2~11 (No.9を徐く。)
- (1975) —— (26) ——21。——Vol.10 No.13。
- (1976) —— (27) ——22。——Vol.11 No.1。
- (1976) —— (30) ——25。——Vol.11 No.5。
- (1976) —— (32~35) ——27~30。——Vol.11 No.7~10。
- 他 (1973-19 ) 原色日本昆虫大図鑑 (II) 甲虫編。北隆館, 東京。
- 他 (1973-1955-) 標準原色図鑑全集 2 昆虫。保育社, 大阪。
- 佐井誠 (1976) 野内川流域の昆虫類。やぶなべ21 : 20-41。
- 佐藤明 (1973) カミキリについて。ウバタマ12 : 12-14。
- (1974) 平賀町におけるカミキリムシ科。ウバタマ13 : 8-22。
- (1975) 平賀町中心の甲虫類5科。ウバタマ14 : 12-20。



1:50,000 青森東部



出

## 正 誤 表

原本に「正誤表」が付属している場合、該当部分を以下に転記しています。「行」は、原則としてタイトル行なども含む上からの行数です。「u」が付く場合は下からの行数です。）

頁	行	誤	正
96	7	分付する種	分布する種
96	12	(不鮮明)	6月にセリ科
98	4	(欠落)	<i>Prionus insulsris</i>
98	14	夜光性	夜行性
99	4	夜光性	夜行性
99	7	(欠落)	ホソカミキリ
99	7	(欠落)	<i>Distenia gracilis</i>
99	11	(不鮮明)	朝夕も飛ぶ
99	18	(不鮮明)	subsp.
99	図	(不鮮明)	触角
99	u1	(不鮮明)	歩いていた
100	14	(不鮮明)	特に多数
100	u6	(不鮮明)	本種は、古い
101	図3	← →	←b→
101	図3	a 2b	a<2b
101	図3	a 2b	a>2b
101	5	(追記)	Yはヤボニカ型、Mは中間型、Bは漂型
102	9	testacea	puziloi
103	2	Grammoppera	Grammoptera
104	10	第8・9節々白い	第8・9節が白い
104	10	8-9節	8-10節
104	13	cshraceotasciata	ochraceofasciata
106	1	(1~4行)	(削除)
106	6	Cenambycini	Cerambycini
106	7	Massicus	Mllambyx
106	9	夜光性	夜行性
107	u20	rutipenne	(原本正誤表、正誤とも同じ)
108	u2	ことからわかる	ことからわかる
108	u1	var. ? 上し	(原本正誤表、正誤とも同じ)
110	4	Bracbyclytus	Brachyclytus
110	4	singularis	singularis

110	13	inhirsuttus	inhirsutus
110	u2	nigida	rigida
114	u7	donata	zonata
114	u2	nigida	rigida
116	2	bimacculata	bimaculata
116	4	glariponnis	malasculata
116	13	fraudarrix	fraudatorix
117	2	lewisi	lewisii
117	5	atrotusca	atrofusca
118	u5	flavtecta	flavotecta
118	u2	chrysargyrea	chrysochloris
119	9	marginie	marginella
119	11	bescens	bebescens
119	u4	rutirentis	rufirentis
120	1	102種	101種